

慢性期医療におけるリスクマネジメント

療養型(医療・介護)リスクマネジメントの考え方





リスクマネジメントの考え方

高齢者介護にもリスクマネジメント



以前から高齢者の転倒などの事故は起きていたが・・・
「病院（介護施設）にお世話になっている」という意識
大きなトラブルへと発展することは無かった時代



「キッチンと介護していたのか」
「何かミスがあったのではないか」
訴訟や損害賠償などを求められるケースが急増





「新型インフルエンザ」「O157」「ノロウイルス」など・・・

- ・病院「（医療療養・介護療養）病棟・介護施設等」集団感染や死者がでると大きく報道される
- ・初期対応の遅れ、書類整備の整備、行政への決められた連絡等の対応が不十分被害が拡大した場合、厳しく指摘される

介護保険制度の発足により、
「保険料やお金を払って介護を購入している」という意識に変化

一部暴走する家族のクレームも大きなリスクとなっている

その波は、確実に高齢者介護業界に押し寄せてきている

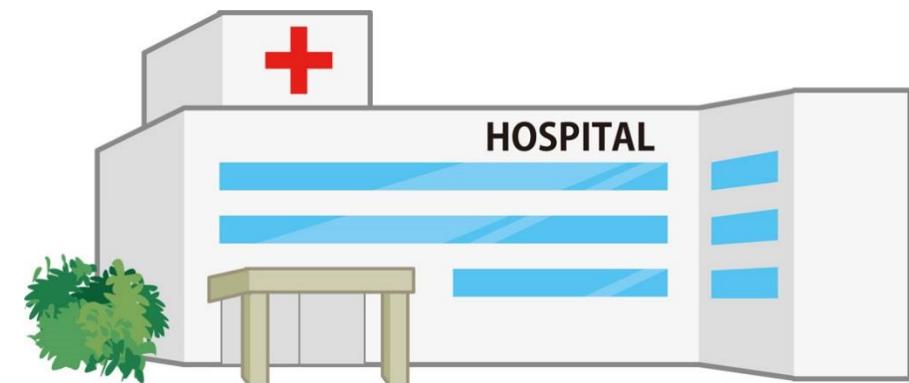
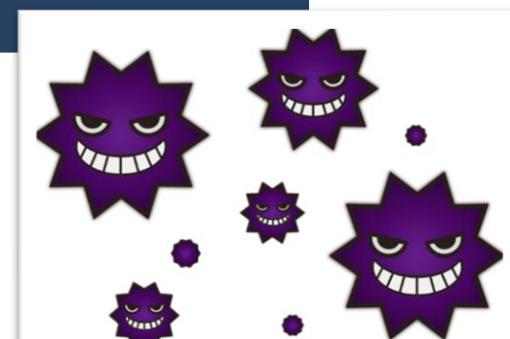




「事業者のサービス提供責任が明確になった

「サービス利用者やその家族の権利意識が強くなつた

「転倒・骨折」
「インフルエンザの流行」
「家族からの苦情」



事業者としてのリスクは、格段に拡大

これまでと同じ認識、方法では、事業やスタッフを守ることはできない



「安心・安全」

高齢者をリスクマネジメント

高齢者介護の「安心・安全」を守る
病院の信用を高めるためにも、運営上必須

高齢者介護のリスクマネジメントとは・・・

リスクを把握
組織的に管理
事故を未然に防ぐことを目的とした活動



リスクマネジメントに取り組むことで職員を守ることにも繋がる



職員や組織がリスクを意識した活動を行うと、
患者様に、より安全で質の高いサービスを提供することができるようになる

